武蔵野市の将来を考える市民会議 今後のテーマ(案)についての委員意見等

公募市民委員意見I

いくつか質問・意見を下記に列記させていただきます。

・将来を考えるのであれば、今後武蔵野市の成長率・人口増加率はどのように試算されているのでしょうか?

またそれに伴い財政状態はどのような見込みとされているのでしょうか? 全てはそこから始まると考えております。

- ・第1回において50あまりの個別計画との整合性を担保しつつの今後の計画をというお話がありましたが個別計画についてはいつおしえていただけるでしょうか?
- ・長期計画との事で今後10年とされてますが、正直十年一昔という言葉もあるとおり、計画としてはあまりにも長期間すぎると考えます。条例などの施策変更・庁内施策によって実現可能な計画については5年とし、2年半で見直しと再調整の余地があるべきと思います。

しかしながら、都市計画などの街自体の構造変革を伴う計画・上下水道整備・道路整備 等については、10年とせざるをえない計画があるとも思っております。

公募市民委員意見Ⅱ

事務局からいただいた「今後のテーマ案」は、各委員の発言内容が大変的確にテーマ、ジャンルごとに網羅されていて、大変内容の濃いテーマ案となっていると思います。

しかしながら、委員意見要旨(キーワード)が多すぎて、2 時間の会議で十分議論することが可能かどうか、些か不安を感じました。

資料としていただいた第四期調整計画を読んでいましたところ、基本的な考え方として3つの視点が挙げられていて、大変明快で分かりやすいように思いました。この3つの視点を会議のフレームとして活かし、キーワードを効率的にまとめあげれば、しっかり話し合えるようになるのではないかと考え、先にお送りしたテーマの枠組みを作った次第です。

武蔵野市の将来を考える市民会議 話し合いのフレーム案

口	フレーム	委員意見要旨(キーワード)
第二回	第一の視点 現在まで築かれて きたものを 「使う」「保つ」「継承 する」	*ハードからソフトへ *市民と行政の協働 *少子高齢化 *経常経費の抑制(市税・財政のバランス保持)
第三回	第二の視点 リスクを回避して 持続可能な社会を 自助・共助・公助 で「支える」	*地域力 *子育て支援 *介護サポート *男女共同参画
第四回	第三の視点 新たな都市像 都市文化 を「創造する」	*新しい事業を作る (武蔵野発の産業育成、企業誘致) *若者の力を活かす *まちへの愛着 (武蔵野市民という意識) *吉祥寺・三鷹・武蔵境三駅周辺環境整備
第五回	まとめ	2~4回の話し合いの中から、最も重要なポイントを抽出する

公募市民委員意見Ⅲ

1. 市民会議の役割について

長期計画を策定するに際し、策定委員会が全体の骨子・ならびに個別課題も検討していくことと思われますが、その大前提となる、市としての全体のビジョンならびに、長期計画に期待するものこそ、策定委員会の検討に先立つ市民会議での議論として重要と思われます。ついては、

- ① 第4回または第5回の会議では、過去の議論も踏まえ、武蔵野市政の今後10年のヴィジョンを議論する時間を設けていただきたい。可能であれば、何らかのスローガン的なものにコンセンサスが持てればよりすばらしいと思われます。
- ② 長期計画の期間が過去の12年から10年に短縮され、また4年後には調整計画を検討するとなっているが、民間では、3年の中期計画を毎年ローリングして見直すのが普通であり、見直しのインターバルがあまりに長いと思われます。ついては、(調整計画のように労力をかける必要はないと思いますが)毎年、あるいは2年ごとに何らかのレビューを行うことを検討いただきたい。出来れば計画の進捗状況の評価を行い、PDCAサイクルを回すことがより望ましいと思われます。

2. ジャンルについて

7つのジャンル+その他に分けて整理いただいておりますが、ジャンルごとに市の計画 としての軽重に差が大きいと思われます。ついては、

- ① 教育については、青少年教育も生涯教育も触れられていない一方、男女協働について、市で出来る分野は限られているので、統合して例えば、「ライフスタイル・教育」といった新ジャンルとしてはいかがでしょうか?
- ② 経済問題・財源確保として一つのジャンルになっていますが、行政改革、政策評価、 事業仕分けといった課題も同種の課題として検討すべきであることを考えると、例えば 「行政運営・財政問題」といったジャンル名としてはいかがでしょうか?

3. 個別キーワードについて

重要なイシューであるにもかかわらず、10人の市民委員では触れられていないもの多々 あると思われます。ついては、気づきの点だけですが、以下もキーワードとして追加する 検討をお願いいたします。

- ① 「都市基盤・都市リニューアル」のジャンルで、「・自然の回復」、「・環境」、「・上下水道の維持管理」
- ② 「行政運営(旧:経済問題・財源確保)」のジャンルで、「・行政改革」、「・政策評価」、「・事業仕分け」、「・PDCAサイクルの確立」
- ③ 「憧れのまち・愛着のあるまち」のジャンルで、「・特色、独自風景のあるまち」